

困ノ爲學業ヲ修ムルコト能ハサル者ニ其ノ學資ヲ補助スルコトアルヘシ

第四條 第二條ノ扶助ハ郡市長ノ調査申告ニ依リ之ヲ決定シ前條ノ學資補助ハ郡市長ノ推薦ニ依リ之ヲ決定ス

第五條 扶助ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ家事擔當者ヨリ直ニ郡市町村長ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

一 縣外ニ住所ヲ移シタルトキ

二 扶助ヲ受クル者及其ノ同一戶籍内ニ在ル者ニ異動ヲ生シタルトキ

三 自營ノ途ヲ得又ハ他ノ救護ヲ受クルニ至リタルトキ

四 退學シタルトキ

五 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

感化法施行細則

明治四十一年十一月
縣令第六〇號

第一條 行政廳ニ於テ感化法第五條第一號ニ該當スヘキ者ト認メ本法第十條ニ依リ具申書ヲ知事ニ提出セントスルトキハ左ノ書類ヲ添付シ感化院長ヲ經由スヘシ

一 本人ノ住所、氏名、年齢及經歷、操行並現在ノ境遇等ニ關スル調書

二 親權者又ハ後見人ノ住所、氏名、身分、職業及經歷、操行等ニ關スル調書

三 戶籍謄本

第二條 感化法第五條第二號ニ依リ親權者又ハ後見人ニ於テ入院願書ヲ知事ニ提出セントスルトキハ入院ヲ要スル事由ヲ詳記シ戶籍謄本ヲ添付シ所轄行政廳ヲ經由スヘシ

行政廳ニ於テ前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ第一條第一號第二

號ノ事項ヲ調査シ其調書ヲ添へ意見ヲ付シテ感化院長ニ送付スヘシ

第三條 感化法施行規則第一條第二項ニ依リ親權者又ハ後見人ニ於テ入院願書ヲ知事ニ提出セントスルトキハ裁判決定書ノ外戸籍謄本及裁判所ニ提出シタル申請書ノ謄本ヲ添付シ感化

院長ヲ經由スヘシ

第四條 感化院長ニ於テ第一條乃至第三條ノ書類ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シテ知事ニ進達スヘシ

第五條 入院命令書ハ感化法第五條第一號該當者ニ在テハ所轄行政廳ヲ經同條第二號第三號該當者ニ在テハ親權者又ハ後見人ヲ經テ之ヲ本人ニ交付ス

第六條 感化院長ニ於テ感化法施行規則第一條第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ入院命令書指定ノ期日内ニ引取ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 感化法第十二條ニ依リ親族又ハ後見人ヨリ退院願書ヲ知事ニ提出セントスルトキハ感化院長ヲ經由スヘシ

感化院長ニ於テ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シテ知事ニ進達スヘシ

第八條 感化院長ニ於テ感化法第七條ニ依リ假退院ヲ要スル者ト認メタルトキハ條件調書ヲ添付シ其旨知事ニ具申スヘシ

知事ニ於テ假退院ヲ命スルトキハ遵守スヘキ條件ヲ詳記シタル假退院命令書ヲ作り感化院長ヲ經テ之ヲ本人ニ交付ス

第九條 前條ニ依リ假退院命令書ヲ交付シタルトキハ感化院長ハ感化法第五條第一號該當者ニ在テハ其旨直ニ所轄警察官署ニ同第二號第三號該當者ニ在テハ親權者又ハ後見人ニ通知スヘシ

第十條 前條ノ通知ヲ受ケタル警察官署若ハ親權者又ハ後見人ハ本人ノ操行等ヲ監視シ三十日毎ニ其狀況ヲ感化院長ニ報告

スヘシ但シ假退院命令書指定ノ條件ニ違背シタル者アルトキハ其旨直ニ感化院長ニ報告スヘシ

感化院長ニ於テ復院ヲ要スル者ト認メタルトキハ其旨直ニ知事ニ具申スヘシ

第十一條 感化院長ニ於テ退院ヲ要スル者ト認メタルトキハ成績調書ヲ添付シ其旨知事ニ具申スヘシ

第十二條 知事ニ於テ退院ヲ命スルトキハ命令書ヲ作り感化院長ヲ經テ之ヲ本人ニ交付ス

第十三條 前條ニ依リ退院命令書ヲ交付シタルトキハ感化院長ハ感化法第五條第一號該當者ニ在テハ所轄行政廳ニ同第二號

第三號該當者ニ在テハ親族又ハ後見人ニ通知スヘシ

第十四條 感化生教化ノ方法ハ教育ニ關スル勅語ニ基キ家族的組織ニ由リテ感化シ其ノ年齢及學力ニ應シ普通教育及實業教育ヲ授クルモノトス

第十五條 前條教化ニ關スル細則ハ感化院長之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 感化法施行規則第六條但書ニ依リ感化院長ニ於テ管外委託教化ノ認可ヲ知事ニ申請セントスルトキハ其理由ヲ具シ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 本人ノ成績調書

二 被委託者公私ノ施設ナルトキハ其位置、名稱及業務ノ狀況並代表者ノ住所、氏名、身分、職業又私人ナルトキハ其住所、氏名、身分、職業、資産及經歷、操行等ニ關スル調書

第十七條 感化法施行規則第六條ニ依リ院長ニ於テ感化生ヲ公私ノ施設又ハ私人ニ託シ教育ヲ施サシメ又ハ勞務ニ就カシメタルトキハ其旨直ニ知事ニ報告シ同時ニ感化法第五條第一號該當者ニ在テハ所轄行政廳ニ同條第三號該當者ニ在テハ親族又ハ後見人ニ通知スヘシ其之ヲ止メタルトキ亦同シ

第十八條 感化院長ニ於テ必要ト認メタルトキハ院生ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 休憩時間ヲ與ヘサルコト
 - 二 一日四時間以内早起晚眠セシムルコト
 - 三 一日五時間以内端坐セシムルコト
 - 四 十日以内ノ期間晝夜一室ニ獨居セシムルコト
 - 五 祝典儀式ノ場合席次ヲ降下スルコト
 - 六 特待ノ一部又ハ全部ヲ停止スルコト
- 感化院長ハ懲戒及檢束ニ關スル帳簿ヲ備ヘ懲戒檢束ヲ加ヘタル事由懲戒檢束ノ方法、程度其他必要ノ事項ヲ登載スヘシ
- 第十九條 院生ノ衣食及療養ニ關スル實費ハ感化法第十一條ニ依リ扶養義務者ヨリ徵收ス
- 前項在院費ハ感化院長ニ於テ其月分ノ實費ヲ計算シ每翌月十日限徵收スヘシ

感化院長ニ於テ在院費ノ一部又ハ全部ヲ免除スヘキ事由アリト認メタル者アルトキハ知事ニ具申シ指揮ヲ請フヘシ

第二十條 感化院長ハ處務ノ細則其他必要ナル院内諸規程ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 前各條ノ規定ハ代用感化院ニ之ヲ準用ス

附 則

本細則ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○ 出獄人保護規程

大正元年九月 訓 第二七號

第一條 警察署長警察分署長ハ典獄ヨリ監獄法施行規則第六十條ノ通報ヲ受ケタルトキ又ハ其ノ他ノ出獄人ニシテ保護ノ必要アリト認メタルトキハ市町村長ニ通知シ相協力シテ出獄人ヲシテ自營ノ途ヲ講シ善行ヲ保タシムルコトニ努ムヘシ

感化法施行細則 出獄人保護規程

第二條 市町村長警察署長及警察分署長ハ其ノ市町村ニ於ケル教育衛生等ノ講話其ノ他公衆會合ノ機會ヲ利用シ出獄人ノ保護ニ關シ世人ノ同情又ハ注意ヲ喚起スルコトニ努ムヘシ

第三條 警察署長警察分署長及市町村長ハ常ニ被保護者ノ行狀並生活狀態ニ注意シ荒怠不良ノ行爲アリト認ムルトキハ嚴重戒飾ヲ加フヘシ未成年ノ被保護者ニ付テハ保護上特ニ注意ヲ加フルヲ要ス

第四條 市町村長ハ被保護者ニシテ居所又ハ職業ナキ者ニハ之ヲ周旋シ又ハ適當ノ者ヲシテ周旋ヲナサシメ又其ノ部内公共ノ勞役ニハ可成被保護者ヲ使用スル等其ノ保護ヲ周到ナラシムヘシ

警察署長警察分署長ハ前項ノ場合ニ於テハ之ニ助力スヘシ
第五條 警察署長警察分署長及市町村長ハ協議ノ上被保護者ノ保護監督ニ關シ部内ノ區長親族故舊出獄人保護事業ニ従事ス

ル者神職僧侶教師其ノ他適當ナル者ニ其ノ保護監督ヲ囑託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ保護者ヨリ其ノ保護ニ關スル狀況ヲ一ヶ月毎ニ報告セシムヘシ

第六條 市町村長ハ監獄ヨリ被保護者ニ對スル所持金ノ送致ヲ受ケタルトキ又ハ勞働賃金ノ殘余アルトキハ生業資金其他差向キノ必要ニ充ツヘキモノ、外ハ可成之ヲ銀行郵便局等ニ預ケ入レシメ其預金通帳ヲ保管シ濫費ヲ制スルト共ニ利殖ノ觀念ヲ誘起セシムヘシ

本人及家族ノ生活費ヲ支辨シ殘存セル所持金ニ付亦同シ

第五條ニ依リ特ニ保護者ニ囑託シタル場合ハ前二項ノ規定ハ保護者ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七條 市町村長ハ被保護者ヨリ前條貯金ノ引出法請求アリタルトキハ其ノ事情ヲ調査シ可成引出サシメサル様注意スヘシ

第八條 警察署長警察分署長及市町村長ハ第一號様式ノ被保護者名簿ヲ調査シ保護ニ關スル事項ヲ登録スヘシ

第九條 警察署長警察分署長ハ平素被保護者ノ行動ヲ視察シ毎月末其ノ狀況ヲ名簿ニ記入シ一面市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ名簿ニ記入スルヲ要ス

第十條 被保護者其ノ住所ヲ移轉シタルトキハ當該警察署長警察分署長ハ移轉先警察署長警察分署長ニ當該市町村長ハ移轉先市町村長ニ其ノ被保護者名簿ヲ送付スヘシ前項送付ヲ受ケタル署長及市町村長ハ本規程ニ據リ保護監督ヲ爲スヘシ被保護者ノ他府縣ニ移轉スルトキハ當該警察署長警察分署長ハ其ノ旨ヲ移轉先警察官署ニ通報シ同時ニ被保護者名簿ヲ送付スヘシ

第十一條 郡長ハ被保護者ニ對シ間接保護ノ任ニ當リ町村長ヲ監督スヘシ

第十二條 警察署長警察分署長ハ毎年六月十二月ノ二回被保護者ニ關スル成績ヲ調査シ第二號様式ニ據リ翌月二十日限り知事ニ報告スヘシ但シ被保護者ノ行狀ニ關シ顯著ナル事實アルトキハ其ノ都度報告スルヲ要ス

前項ノ報告ハ同時ニ謄本ヲ作り保護ニ關スル通報ヲ爲シタル典獄ニ之ヲ送付スヘシ

第十三條 被保護者ニ對シ警察署長警察分署長又ハ市町村長ニ於テ其ノ保護ヲ要セスト認ムルニ至リタルトキ及六ヶ月以上居所不明ナルトキハ協議ノ上其保護ヲ解除スヘシ(様式ハ省略ス)

● 貴族院議員衆議院議員其他議員并市

町村吏員改氏名報告ノ件

明治三十三年五月
訓令 第五〇號

貴族院議員衆議院議員其他議員並市町村吏員改氏名報告ノ件
三九二
訴訟ノ手續ニ關スル件

貴族院多額納稅者議員衆議院議員縣會議員郡會議員市町村長市
參事會員市町村助役市收入役等ノ職務ニ在ルモノニ對シ改氏名
ノ許可ヲ爲シタルトキハ即日知事ニ報告スヘシ

● 訴訟願ノ手續ニ關スル件

明治二十四年四月
訓令 第一三號

市町村制ニ關スル事項左ノ通心得取扱フヘシ

- 一 市町村制ニ依ル訴訟願ノ手續ハ制ニ別段ノ規定アルノ外訴訟
法ニ依ルヘキモノトス
- 一 市町村制第八條ノ議決又ハ市制第三十五條町村制第三十七
條ノ裁決ニ對スル訴訟願ノ如キハ市町村會ヲ以テ訴訟法第二
條ノ行政廳ト見做シ總テ該會ヲ經由スヘキモノトス

● 官有堤塘道路並木敷ノ使用其負

擔及收益ニ關スル件

明治二十四年七月
訓令 第二五號

官有ニ屬スル堤塘道路並木敷ノ使用ハ自今其費用ヲ負擔スル市
町村又ハ公共組合ニ於テ處分スヘシ
前項堤塘道路並木敷使用料及堤塘道路用悪水路土居敷等ニ屬ス
ル竹木其他ノ收益ハ其費用ヲ負擔スル市町村又ハ公共組合へ收
入スヘシ

第一項ノ處分ヲ爲サントスルトキハ左ノ各項ヲ取調當廳へ稟申
認可ヲ請フヘシ但シ使用ヲ廢シタルトキハ其旨報告スヘシ

使用ノ目的

使用ノ年限

使用料金

官測圖面

別

使用地ノ長巾

但シ近傍明瞭ナルヲ要ス

官有堤塘道路並木敷ノ使用其負擔及收益
ニ關スル件

同字名(大字)
(地名)

◎社團又ハ財團法人届出事項ニ

關スル件

明治四十三年二月
縣令第九號

社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ得テ設立シタル法人及民法施行法第十九條ノ法人ニシテ内務大臣ノ認可ヲ得タルモノハ自今左記ノ事項ヲ期日内ニ知事ニ届出ツヘシ但シ明治四十三年ニ限リ第二號及第四號ノ事項ハ同年三月十五日限リ届出ツヘシ

一 財産目録

右調製ノ都度一週日以内

二 前年中ニ執行シタル業務ノ狀況及收支ノ計算

右毎年一月三十一日限但シ特ニ事業年度ヲ設ケタルモノハ其

ノ年度後一箇月以内

三 總會ノ議決事項並ニ議事ノ狀況(社團法人ニ限ル)

右總會閉會後一週日以内

四 前年十二月三十一日現在ノ社員數(同上)

右毎年一月三十一日限

◎郡市町村公共團體ニ於ケル民事訴訟

訟ノ訴訟事實報告ノ件

明治三十四年二月
訓第一二號

郡市町村若クハ市町村ノ一部一區又ハ水利組合ニ於テ民法上ノ權利義務ニ係ル訴訟ヲ司法裁判所ニ提起シ又ハ被告トナリタル場合ニ於テ其ノ事實ヲ報告シ猶ホ事件結了ノ上ハ其ノ顛末ヲ報告セラルヘシ

社團又ハ財團法人届出事項ニ關スル件
郡市町村公共團體ニ於ケル民事訴訟ノ訴訟
事實報告ノ件

内務、大藏大臣ニ差出ス書面經由ノ件
勤儉貯蓄組合準則

三九六

○内務、大藏大臣ニ差出ス書面

經由ノ件

明治三十二年四月
訓令第三〇號

市制第二百一十一條第二百二十二條町村制第二百五條第二百六十六條ニ依リ内務大臣大藏大臣へ許可ヲ請フ爲メ差出ス書面ハ市ハ當廳町村ハ郡役所及ヒ當廳ヲ經由スヘキ義ト心得ヘシ

○勤儉貯蓄組合準則

明治三十七年二月
縣令第九號

第一條 市町村住民ハ便宜區域ヲ定メ本則ニ依リ勤儉貯蓄組合ヲ設置スルコトヲ得
第二條 組合ヲ設クルニハ規約ヲ作ルコトヲ要ス
組合ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載シ各組合員之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 地區及組織

四 事務擔當者ノ選任及職務ニ關スル規定

五 勤儉貯蓄ノ方法

六 貯蓄金管理ノ方法

七 違約者處分ニ關スル規定

八 右ノ外必要ノ事項

第三條 組合ノ規約ハ郡市長ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 組合ノ規約ハ總組合員四分ノ三以上ノ同意アルトキニ限リ之ヲ變更スルコトヲ得

第五條 組合ハ毎年一月七月ノ二回ニ組合員ノ貯蓄金一覽表ヲ作リ郡市長ニ報告スヘシ

第六條 組合ニハ一人又ハ數人ノ事務擔當者ヲ置クコトヲ要ス

勤儉貯蓄組合準則

三九七

第七條 組合ハ事務擔當者ノ氏名住所ヲ郡市長ニ届出ツヘシ
郡市長ハ組合ノ事務擔當者ヲ不適當ト認メタルトキハ改選ヲ
命シ又必要アルトキハ自ラ仮事務擔當者ヲ選任スルコトヲ得
第八條 郡市長ハ何時ニテモ組合ノ事務及貯蓄ノ狀況ヲ検査ス
ルコトヲ得

第九條 組合ヲ解クニハ総組合員四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ郡
市長ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 組合ヲ解キタルトキハ事務擔當者精算ノ任ニ當ルヘシ

附則 第一條 本則ニ依リ郡長ニ差出ス書面ハ総テ町村長ヲ經由スヘ
シ

大正五年五月十五日印刷
大正五年五月十八日發行

福井縣内務部地方課

福井市松ヶ枝中町七十二番地

印刷者 川瀬芳太郎

福井市松ヶ枝中町七十二番地

印刷所 川瀬印刷所



終

